

国際平和デー（2024年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々の共通の理想である国際平和を記念し、推進するために国連が定めた日であり、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。

平和首長会議では、今年も「国際平和デー」の趣旨に賛同し、166か国・地域の8,397の加盟都市に対して、広島・長崎に原爆が投下された8月6日と9日に加え、9月21日の「国際平和デー」に、市民一人一人が平和への願いを共有し、その実現を祈念する行事を開催していただくよう呼びかけます。

国連総会で「平和の文化に関する宣言」と行動計画が採択されて25周年となる今年の「国際平和デー」のテーマには、ユネスコ憲章前文にある「人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という理念に基づき、「平和の文化を育む」が掲げられました。

これは、活動指針であるP×ビジョンにおいて、「平和文化の振興」を掲げる平和首長会議の思いを同じくするものであり、平和や平和の文化が教育を通じて、国や世代を超えて子供たちの心やコミュニティにおいて育まれることの必要性が呼び掛けられています。

平和な世界を実現するためには、市民一人一人が平和を願い、そのために自分ができることを日常生活の中で実践できる社会や環境が必要です。こうした市民の主体的な活動を支える環境を作るために、平和首長会議は、加盟都市の皆さんと共に市民社会に平和文化を根付かせる取組をより一層推進していきたいと考えています。

平和のためにできることは身近にあり、一人一人の行動が、平和な未来を築く一歩となります。本日から「国際平和デー」までの100日間、改めて、各加盟都市が心を一つにし、各地域で平和文化の振興に取り組み、世界中の市民と共に核兵器の廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けて歩みを進めましょう。

2024年6月13日

平和首長会議会長

広島市長 松井 一實